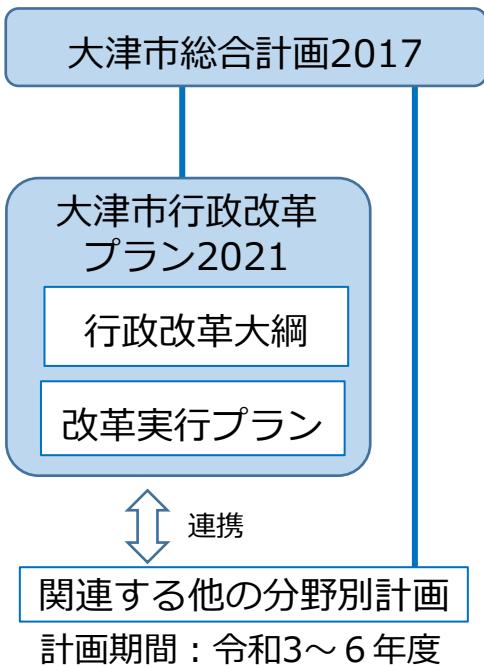


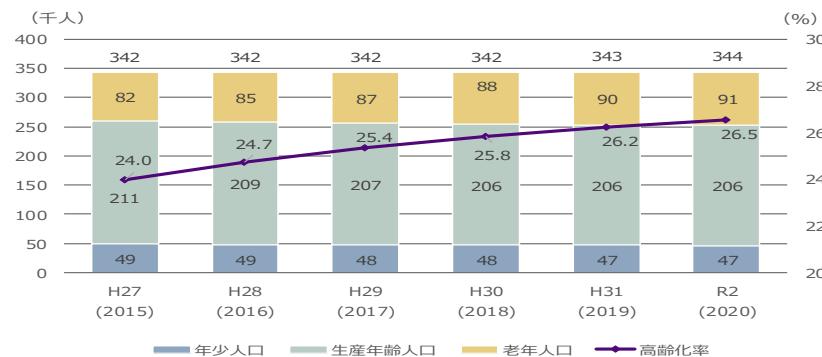
プランの位置付け



現状と課題

- **行政経営を取り巻く環境の変化**
 - 人口減少・少子高齢化
 - 新型コロナウイルス感染症等
 - 社会の急速なデジタル化
 - SDGsの推進等
- **行政経営の状況**
 - 人口増加幅の減
 - 世帯の少人数化
 - 公共施設の更新費用の増大
 - 今後の将来負担比率の上昇

【総人口の推移】



これから求められる行政経営

- (1) 限られた行財政資源を重要な課題に再配分するマネジメント**
 - 全ての行財政活動を継続させるため、課題の重要度に応じて、行財政資源を柔軟に再配分し、効率的に課題の解決を図るマネジメントが必要です。
- (2) 求める成果を実現するまでの「試行錯誤」の継続**
 - 検討に時間を要する困難な課題について、課題の解決に向けた着手が遅れないよう、実践を重ねながら軌道修正をし続ける「試行錯誤」が必要です。
 - 政策立案や行政サービスの提供においてEBPMの考え方を採り入れるなど、様々な情報やデータに基づく継続的な改善に取り組むことが必要です。
- (3) 時間を生み出す業務環境づくり**
 - 行政手続の見直し・改善に加え、民間委託や先進技術の活用などを進め、職員にしかできないコア業務に専念できる環境を整えることが必要です。
- (4) 行財政資源の確保と良好な状態の保持**
 - やりがいを感じられ、ワーク・ライフ・バランスが実現された、働きやすく成長実感の得られる職場づくりを進めることが必要です。
 - 公共施設をどの程度維持し続けるかを勘案し、その見直しを含めた更新・統廃合・廃止と、維持費の軽減・平準化による適正な維持が必要です。

行政改革大綱

社会状況の変化に対応した持続可能な都市経営

目標

本市がこれまで進めてきた経費の削減や組織のスリム化などの行財政改革の取組をこれからも粘り強く続けていくことで生み出される財源や時間等の行財政資源を新たな行財政需要に対して効果的・効率的に活用していくことによって、社会状況の変化に対応し、市民が必要とする行政サービスを継続して提供することができる都市経営を実現します。

効果的・効率的な行政へ進化し続ける行財政改革

目指すべき方向性

社会の課題を素早く見極め、市民に寄り添いながら、より良い未来の大津をつくるために社会の変化に対応できる行政を目指し、行政サービスの在り方及び財源や公共施設などの限りある行財政資源の活用が常に適正かつ効果的・効率的なものとなるように見直し、行政の進化の実現に向けて行財政改革にチャレンジし続けることにより、持続可能な都市経営を実現します。

改革実行プラン

取組方向

- ① 財政の健全化
- ② 行政経費の適正化
- ③ 受益と負担の適正化
- ④ 自主財源の確保
- ⑤ 行政運営の効率化
- ⑥ 事業の見直し
- ⑦ 効率的な執行体制の構築
- ⑧ 民間活力による事業推進
- ⑨ 公共施設マネジメントの推進
- ⑩ スマート自治体の実現
- ⑪ 地方公営企業会計等の経営改革

大切に考える

1 効果的・効率的な行政への進化にチャレンジ

- あらゆる困難に対する「チャレンジ」
- 新たな技術・サービスの導入への「チャレンジ」
- これまでの行財政改革の取組継続への「チャレンジ」
- 迅速な対応への「チャレンジ」
- 連携主体の拡大への「チャレンジ」
- 職員の意識向上・職員の提案による「チャレンジ」

2 未来を見据える

- 中長期の展望を見据える
- 社会の変化を見据える
- SDGsの取組の広がりを見据える
- ありがたい未来の実現を見据える
- できることではなく、なすべきことを見据える

3 市民に寄り添う

- より良い市民の暮らしの実現
- 市民目線
- 市民等との協働
- 価値あるサービスの創出・提供

取組項目の追加検討

改革実行プランの「具体的な取組項目」については、「社会状況の変化」「日々、進歩する先端技術への対応」「チャレンジし続ける行財政改革」「職員が提案する行財政改革」に迅速かつ柔軟に対応するため、取組期間中においても、必要に応じて追加を検討します。